

人をつなぎ歴史をつむぐ 賑わい・交流の場

【本庁舎のイメージコンセプト】(案)

【はじめに】

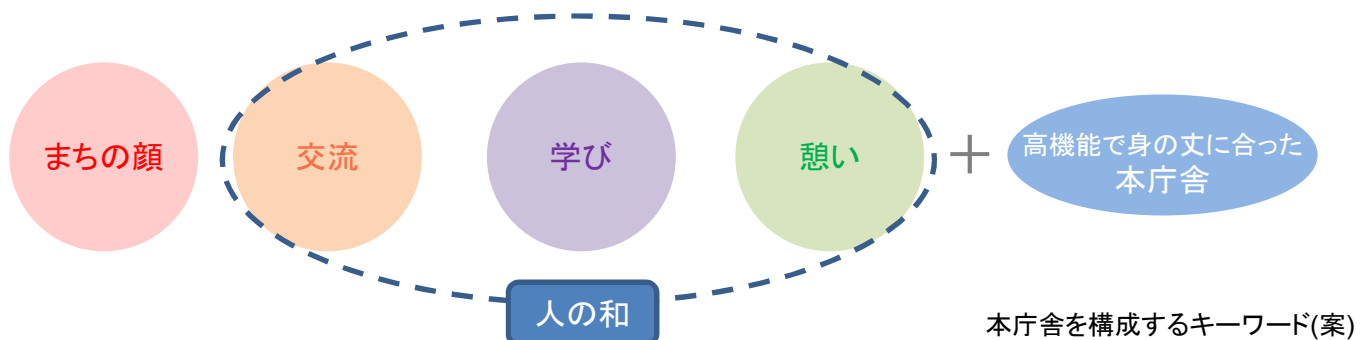
今回のパブリック・コメントは、新しい庁舎の建設をきっかけにして、まちを再生し、次の世代につなげていくためにも、基本構想の策定過程において市民のみなさんから広く意見をお聞きすることが目的です。

みなさんは本庁舎がどのようなものであればよいとお考えですか？

また、どのように活用したいですか？

資料No.

- | | |
|---------------------|-----|
| 1. 本庁舎の基本理念・整備方針 | ……2 |
| 2. 将来を見据えたまちづくりと本庁舎 | ……3 |
| 3. 本庁舎周辺の方向性イメージ | ……4 |
| 4. 本庁舎周辺のまちづくりの方向性 | ……5 |
| 5. 本庁舎が備えるべき機能 | ……6 |



1 本庁舎の基本理念・整備方針

(1)本庁舎の基本理念

庁舎機能のあり方検討委員会及び本庁舎建設市民検討委員会（第1回～第4回）における議論を集約し、これからの庁舎整備において目指すべき、新しい本庁舎の基本理念を以下のようにまとめました。

『まちの活性化とまち空間再生の大きな契機とする』

国府1,300年の歴史のなかで、常に政治・経済・文化の中心であった現在地に、新しい本庁舎を建設することで、その歴史・文化を継承する「まちなか・武生」の活性化の大きな契機とし、コンパクトで持続的に発展するまちづくりを見据えた庁舎とします。

また、「まちなか・武生」のまち空間再生の起点となるための、学び、賑わい・交流を育む庁舎機能を踏まえた、身の丈にあった庁舎とします。

(2)本庁舎の基本的な整備方針 5本柱

基本理念のもと、本庁舎のあるべき姿として、5つの基本的な整備方針をまとめました。

I まちの顔となる庁舎

- ①国府1,300年の歴史と文化が年輪のように積み重なった「まちなか・武生」の顔となり、越前市のシンボルとなるオンリーワンの庁舎を目指します。
- ②伝統産業や先端産業など、ものづくりのまちとしての情報発信の核となる庁舎を目指します。
- ③「越前市の玄関」として、県内外からまちなかへ人を引きこみ、まちの顔となる庁舎を目指します。

II 市民に愛され、多様な市民の参画・協働の場となる庁舎

- ①シティホールとして、越前市民がふるさとを学び、誇りと愛着を感じ、持ち続けられる庁舎を目指します。
- ②市民、老若男女あらゆる人が集い、出会いの場となる庁舎を目指します。

- ③駅・庁舎・蔵の辻・総社などシンボルロード（表参道）を軸とし、連続した賑わい・交流の拠点となる庁舎を目指します。
- ④多様な市民がまちづくりに主体的に参画し、協働を育む拠点となる庁舎を目指します。

III すべての人と地球環境にやさしい庁舎

- ①高齢者、障がい者をはじめ、老若男女誰にも安全でわかりやすく、利用しやすいユニバーサルデザイン※1を取り入れた、人にやさしい庁舎を目指します。
- ②環境負荷低減に配慮した、地球環境にやさしい庁舎を目指します。

IV 効率的・機能的な庁舎

- ①ライフサイクルコスト※2の削減を図りながら、将来の変化に柔軟に対応し、長期間有効に使い続けることのできる庁舎を目指します。
- ②窓口部門の集約化や事務の効率化を図り、市民が求めるサービスにスピーディかつ的確に対応する機能的な庁舎を目指します。

V リスク管理機能を備えた庁舎

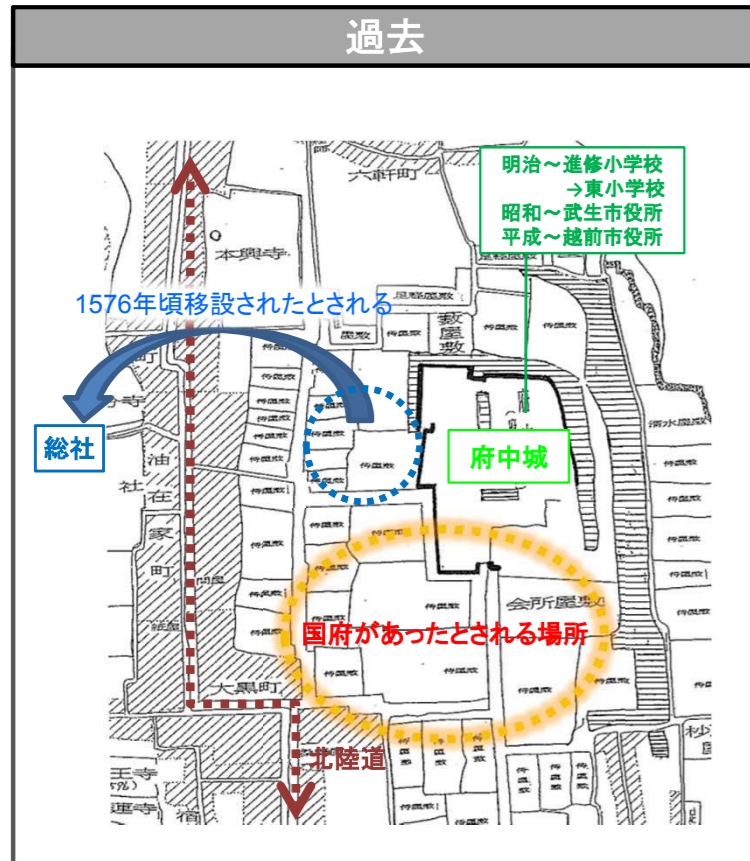
- ①様々なリスクを的確に把握し、管理するための機能を備え、市民が安心して利用できる安全で安心な庁舎を目指します。
- ②災害発生時には、情報収集や災害対応を担う拠点施設となる庁舎を目指します。

※1 ユニバーサルデザインとは
年齢や障がいの有無だけでなく、老若男女、文化・国籍の違いに至るまで、全ての人が利用しやすいようなデザイン。

※2 ライフサイクルコストとは
建物の建設費用だけでなく、企画・設計等の計画に要する費用から、運用・維持管理・増改築等の使用中に要する費用や解体・廃棄等の取壊しに要する費用までのトータルコスト。

2 将来を見据えたまちづくりと本庁舎

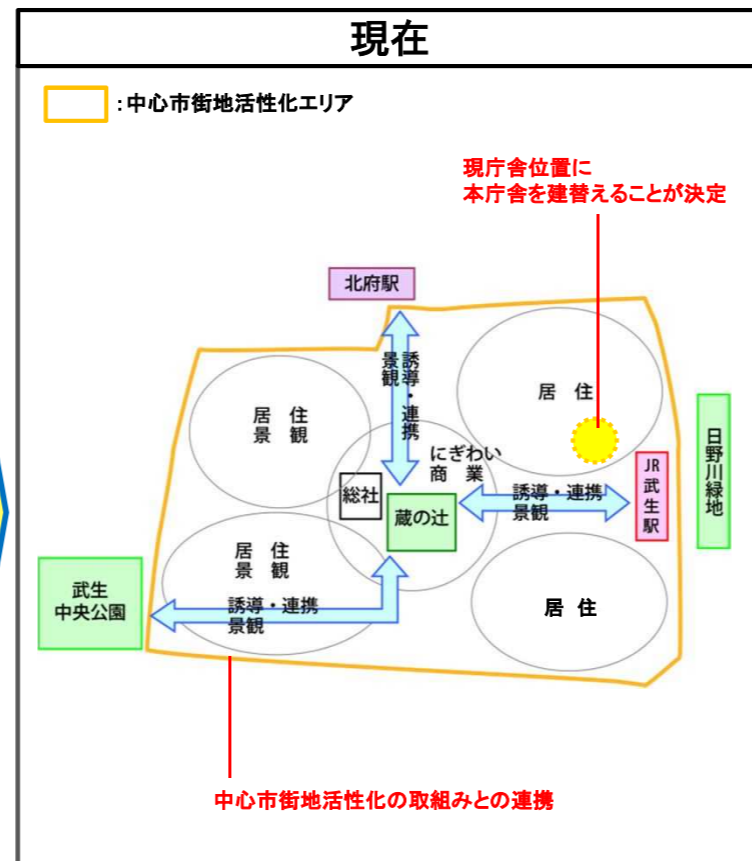
過去から現在に至るまちの成り立ちを読み解き、まちの現状・課題を分析・再認識することで、将来の理想的な姿を見据えたまちづくりを行いたいと考えます。そして、そのために現在地に建設される本庁舎を中心に、未来へ向けたまちづくりの方向性を考え、まちの活性化・まち空間の再生のために本庁舎が備えるべき機能と空間を確定したいと考えます。



歴史的背景とまちの成り立ち

- ・大化の改新以降、この地に越の国の**国府**が置かれ、政治・経済・文化の中心地として栄えた。
- ・奈良時代、仏教による国家鎮護のため国府の近くに**越前国分寺**が建立される。
- ・平安時代、国府近くに**総社大神宮**が置かれるが、前田利家が、現市役所あたりにあった総社を西の現在の場所に移したとされている。
- ・戦国時代、織田信長が府中に前田利家を封じるため現市役所の位置に**府中城**を築城する。
- ・江戸期以降は、本多氏の安定した治世の下、北陸道や西（馬借）街道を軸に**城下町**として発展し、商業や産業、街路や街並み等**現在のまちの基盤が形成**された。
- ・越前和紙や織維、越前打刃物、越前筆等等、古くから**モノづくりが盛んな地域**として、固有の地域文化が培われ現在にも受け継がれている。
- ・府中城跡には、明治時代に小学校、昭和に入ると市役所が建設される等、常にこの地は**政治・経済の中心地**であり続け現在に至っている。

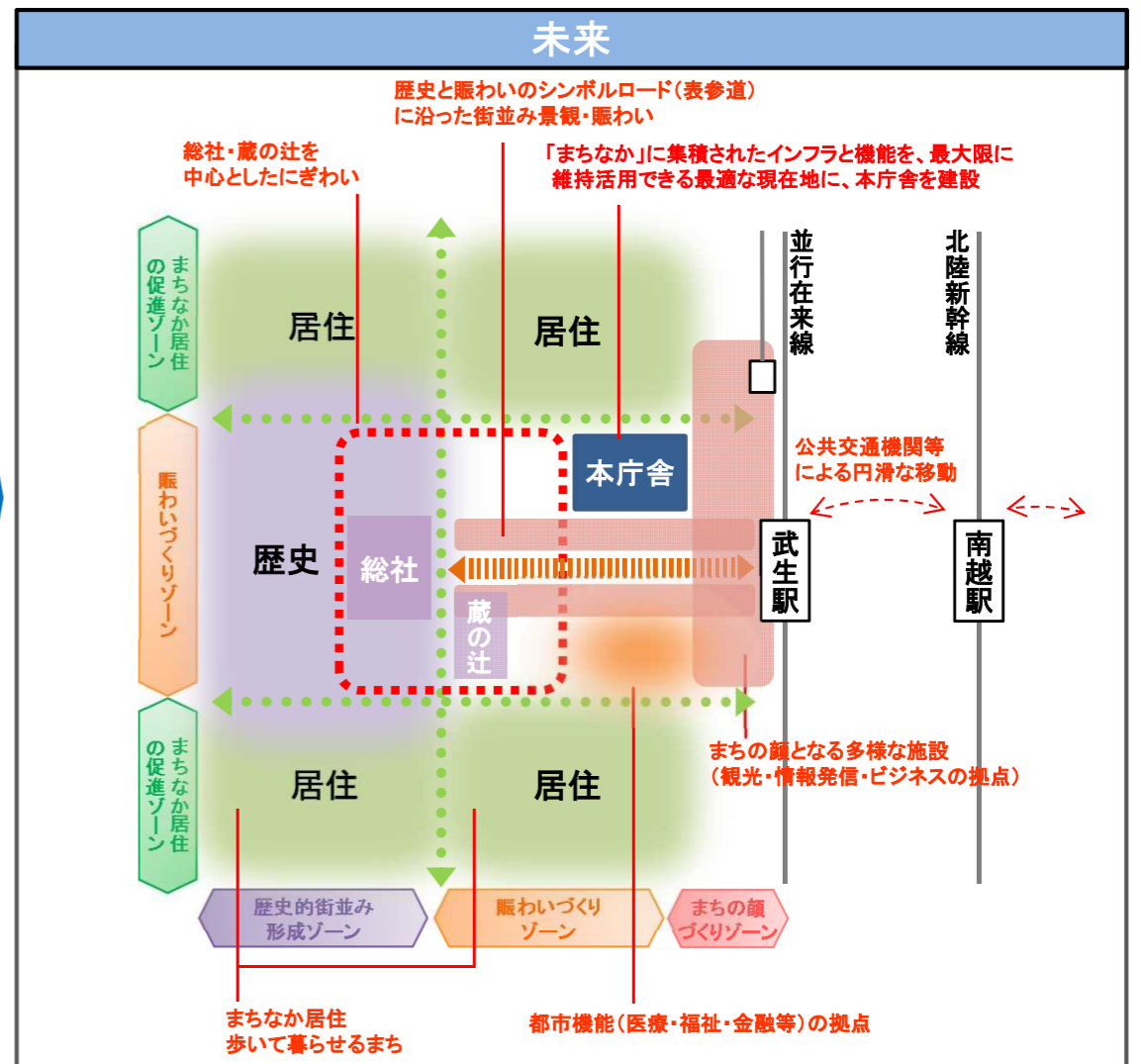
現在へ受け継がれる物語



まちの現状と課題

- かつて越前国府が置かれ、震災や戦災に遭う事もなく1,300年の歴史と伝統に育まれた、**街並みや路地、社寺、町屋、蔵等、まちの枠組みが残る**全国でも貴重な落ち着いたまちとなっている。市街地の中心には、居住者も多く商業施設が集積し、人々が行きかい活気に溢れていたが、核家族化やモータリゼーションの広がりとともに若年代を中心に**郊外化が進んでいる**。その結果、空き家、空き地が増え、広大な駐車場や景観にそぐわない建替え等による無機質な建築物など、**街並みの連続性の喪失**といった景観の悪化が危惧されている。
- 蔵の辻を中心に、イベント・コンサート等様々な活動が、**地域住民主体**により取り組まれているが、高齢化とともに**地域コミュニティの希薄化が懸念**され、地域の事業者や事業者等が地域コミュニティの一員として、積極的な参画を進めるなど、まちに**多くの人が主体的に関わる仕組みづくり**が求められている。

未来へ向けた方向性



成熟した未来のまちの姿にむけて

- ・商業活性化や基盤整備の視点のみならず、まちなか居住の推進、福祉・健康の増進及び公共交通の整備等の視点も加えたまちづくりの方向性が示され、さらなる人の和づくりを推進することで、公共投資はもとより**民間投資の誘導**による都市環境の整備が進められる。

まちづくりの方向性

- まちの顔づくり
- 賑わいづくり
- 歴史的街並みの形成
- まちなか居住の促進

- ・歴史的街並みは、保全・修景された景観を形成している。
- ・庁舎及び歴史と賑わいのシンボルロード（表参道）を中心に、**市民交流や市民参画による賑わいが形成**され、観光・文化・伝統産業の情報発信、交通結節機能の充実により、周辺地域をはじめ市外からの**来訪者との交流**が促進されている。
- ・庁舎をはじめ公共空間の再生が契機となり、地域の事業者や事業者等によるまちのリノベーションが誘発され、まちなかには多様な都市機能が集積し、若者から高齢者まで、郊外からも居住誘導が図られた、**コンパクトシティが形成**されている。

3 本庁舎周辺の方向性イメージ

将来の理想的なまちの姿を実現するため、まちなかエリアを4つのゾーンに位置づけ、各ゾーンごとのまちづくりの方向性を示します。また、それらのゾーンをつなぐ歩行者ネットワーク、公共交通ネットワークなどのまちのインフラを「まちの骨格」として位置づけ、本庁舎がネットワークを介して「骨格の中心」となることで、まちづくりの契機となることを目指します。



本庁舎を現在地に建設することの効果

- | | |
|--|---|
| <p>《直接的効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○来庁者の増加 ○まちへの誘導 ○官・民の連携、協調 | <p>[動機付け]</p> <ul style="list-style-type: none"> … 行政サービス以外の来庁目的の創出 … まちなかの魅力アップ(民間主導) … まちのリノベーションへの誘発 |
| <p>《間接的効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まちづくりへのシナリオ～市全体への波及 中心市街地活性化計画の改定 都市計画マスタープランの改定 立地適正化計画の導入 | <p>[動機付け]</p> <ul style="list-style-type: none"> … 核(庁舎)を中心とした周辺都市空間の再生方針を決定 … 新庁舎建設方針決定に基づき周辺都市計画方針の改定 … コンパクトシティに向けて |

まちなかの4つのゾーニング

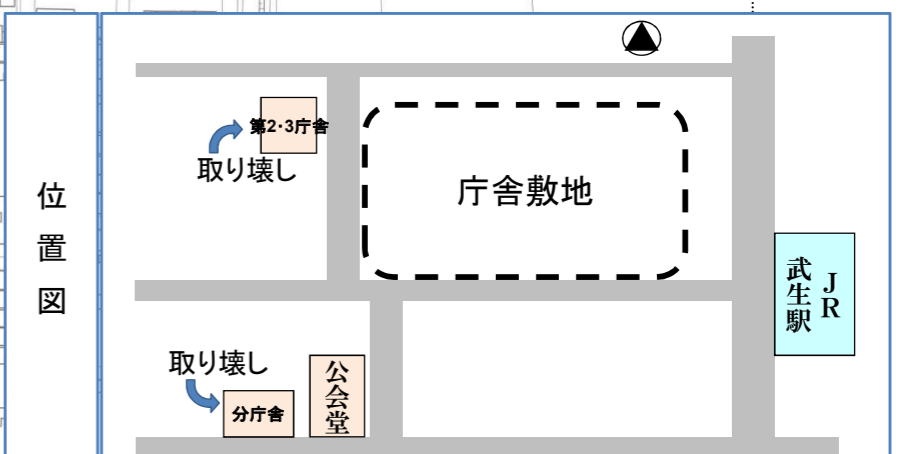
中心市街地活性化計画におけるまちなかエリアの方向づけに基づき、まちなかを以下の4つにゾーニングします。

- **まちの顔づくりゾーン**: 武生駅～庁舎周辺
- **賑わいづくりゾーン**: 庁舎周辺～蔵の辻
- **歴史的街並み形成ゾーン**: 総社・寺町等
- **まちなか居住の促進ゾーン**: まちなか中心地周辺

まちの骨格となるネットワーク

4つのゾーンをつなぐ、まちなかのネットワークを示します。

- | | | | |
|---|----------------------|---|------------------|
| — | 既存道路網 | ○ | アーケード・商店街 |
| ⋯ | まちなか散策ルート(歩行者ネットワーク) | — | バス路線(公共交通ネットワーク) |
| ● | 駅から総社までのシンボルロード(表参道) | ← | 旧北陸道 |

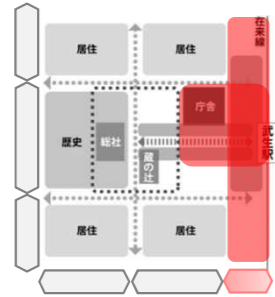


4 本庁舎周辺のまちづくりの方向性

まちなかエリアの4つのゾーンについて、それぞれにおけるまちづくりの方向性を示しています。

〔まちなか顔づくりゾーン：武生駅～庁舎周辺〕

公共交通の結節点となっているJR武生駅から、武生の歴史・文化を感じ、まちなかへ人を引き込める玄関をめざす。



まちなか顔づくり

○越前市の玄関

・駅前広場から「歴史と賑わいのシンボルロード(表参道)」を軸とした、連続した賑わい空間を形成。

○まちなか顔・シンボルをつくる

・駅前広場から庁舎への視認性に配慮したまちの空間構成、まちのランドマークとなる外観デザインの庁舎を創る。

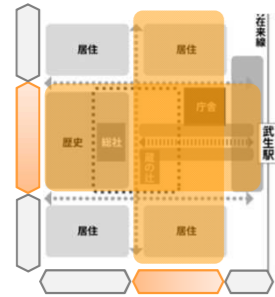
○情報発信の拠点

・まちなかに点在する歴史・文化を感じさせ、観光拠点として情報発信機能を備える。



〔賑わいづくりゾーン：庁舎周辺～蔵の辻〕

まちの活性化を図るために人の滞在時間を長くし、交流することで賑わいを生み、まちなかへ誘導するための歩いて楽しい空間をめざす。



賑わいづくり

○賑わい・交流の核を創る

・駅～庁舎～蔵の辻～総社へとつながる「歴史と賑わいのシンボルロード(表参道)」を整備し、ロードサイドに連続的にぎわいを形成する。

・多目的ホールや広場など、人が集まり・交流するイベント機能を整備する。

○老若男女が歩いて楽しいまち空間を創る

・緑豊かな歩きたくなる散策ルートの整備をする。

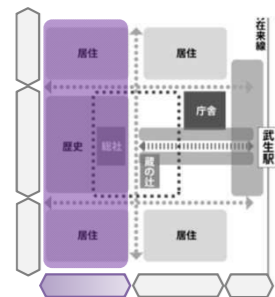
・庁舎周辺へ多様な都市機能が集積しやすい環境整備を図り、庁舎機能との連携で市民の利便性向上を図る。

・新たな活動を生み出す若者等のための空間を形成する。



〔歴史的街並み形成ゾーン：総社・寺町等〕

1, 300年の歴史や文化を未来につなげ、武生の特徴を生かしたまちづくりを図り、若者が気軽に学び交流できる場をめざす。



歴史的街並み形成

○歴史や文化が息づくまちなかを整備する

・地域特性を活かした伝統的街並みの保存及び効果的なファサードの景観整備を促す取組みを強化する。

・歴史的街並みに配慮した、デザインコード*を整備し、景観形成を先導する。

・豊かな自然と歴史・文化に裏付けされた社寺、文化財など多くの素材を情報発信する。

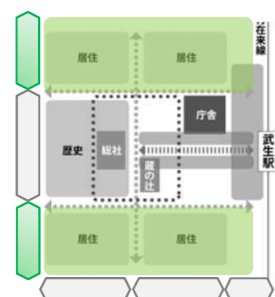
○伝統工芸を活用・振興を図る

・庁舎内装等に伝統工芸を活用、また工芸作品の展示する場を設けることで、越前筆筒、越前打刃物、越前和紙等の伝統産業の振興につなげる。



〔まちなか居住ゾーン：まちなか中心地周辺〕

人口減少社会に対応するため、商業、医療、金融機関など都市施設が集積し、インフラが整備されたまちなかへの定住化を進め、安全安心で快適なまちづくりを図り、老若男女が生き生きと暮らせるまちなかをめざす。



まちなか居住の促進

○老若男女が生き生きと暮らせるまちを創る

・歩いて暮らせる居住環境の整備を進めるとともに、生活関連施設や公共空間の再整備等により、まちなか居住の魅力をアピールする。

・安心してまちなかに住み続けられる快適な居住環境、居心地の良い空間を創る。

・土地の流動化の促進や、既存ストックの利活用を図る。

○多様な市民参画の場、機会を創る

・まちなかに住み、身近な庁舎で多様な市民参画の場、機会を創る。

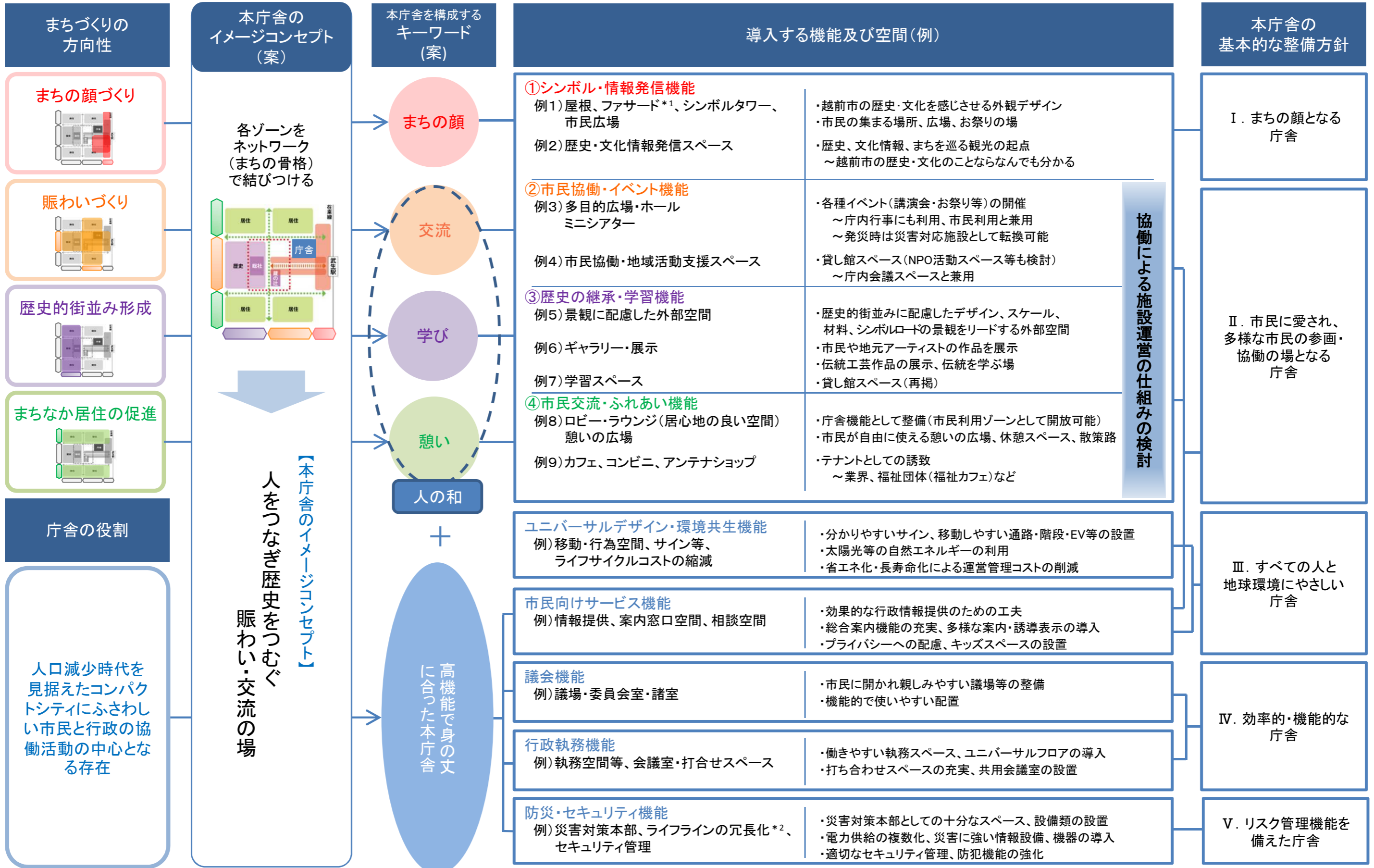
・地域の事業者や事業者が地域コミュニティの一員として、積極的な参画を進める。



*デザインコードとは、歴史的な街並みの景観を継承するため、建物の外観や外部空間を構成する建築要素の、形状、素材、色彩、大きさ、組み合わせや歴史的な文様などに、一定の規範(コード)を設けること。

5 本庁舎が備えるべき機能

まちづくりの方向性から、まちの骨格であるネットワークの中心となる本庁舎の役割により、本庁舎のイメージコンセプトを「人をつなぎ歴史をつむぐ 賑わい・交流の場」としました。そして、そこから本庁舎建設を構成する基本となる5つのキーワードを導き出すとともに、本庁舎及びその周辺へ導入する機能及び空間を例示しました。



*1 ファサードとは …街路や広場などに面する建物の正面部分のこと。建物のいわば顔としての役割をもつ。
 *2 冗長化とは …一部の設備が故障してもサービスを継続して提供できるようにシステムを構築すること。